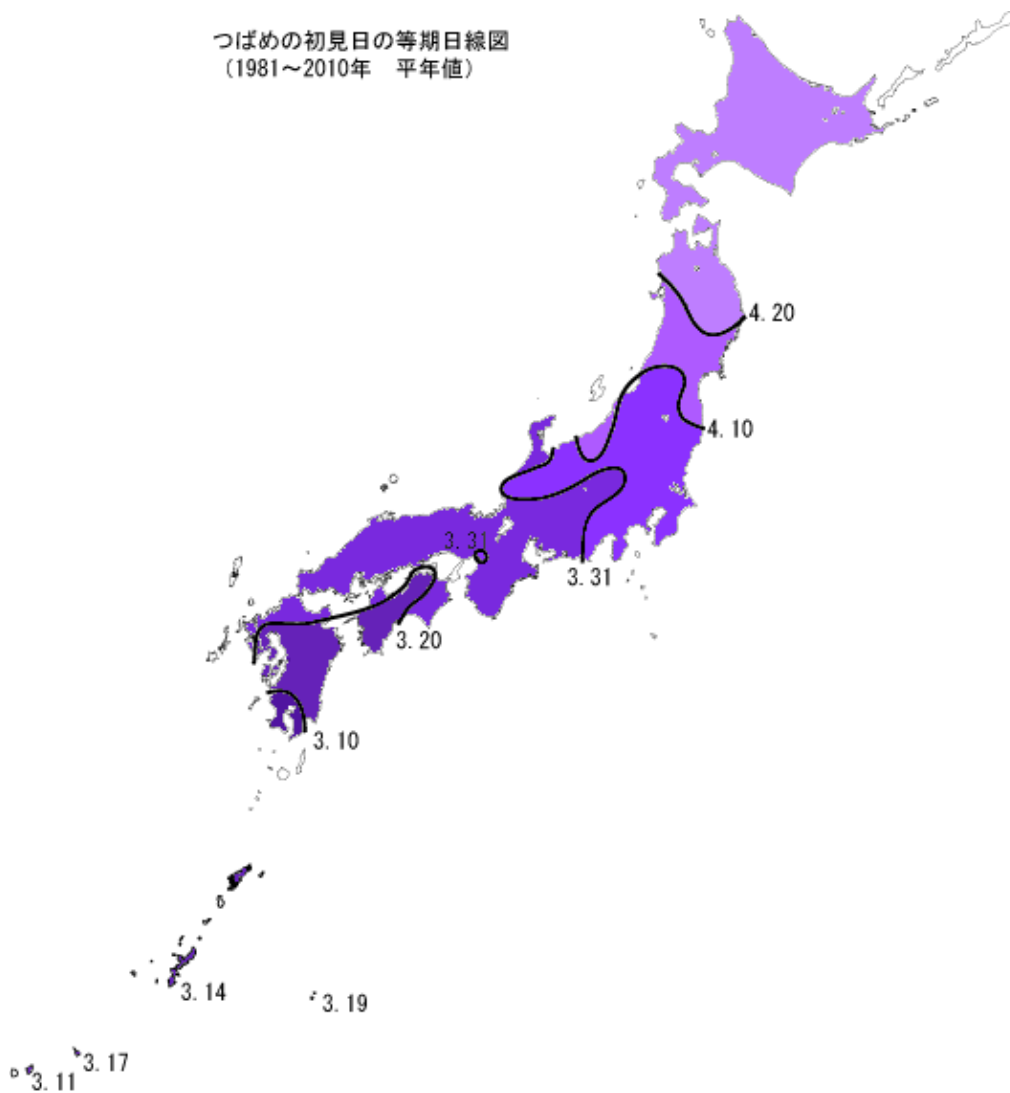


つばめの初見日



つばめの初見日とは、春に入る頃渡来したつばめを初めてみた日をいいます。関東以西では越冬するつばめもあるといわれていますが、これは観測の対象としません。つばめはすずめより大きく、その尾は長く二つに分かれています。頭から背にかけてと翼は光沢のある黒色で、額から喉にかけては栗色、栗色に接して首飾りの様に黒い帯があり、胸から腹部にかけては白色です。

つばめの初見日の等期日線図
(1981～2010年 平年値)



つばめの初見は、3月上旬から九州地方南部で始まります。3月20日に九州地方、四国地方に達し、3月31日に中国地方、近畿地方、北陸地方、中部地方を結ぶ地域、4月10日に東海地方、関東甲信地方、東北地方南部を結ぶ地域、その後、東北地方北部を北上し4月下旬に北海道地方に達します。